

一般財団法人福田美術振興財団

2024年度事業計画

自 2024年4月 1日

至 2025年3月31日

I 公益事業

1. 博物館管理運営事業

(目的効果)

日本画を中心とする美術品の収集、保存、並びに嵯峨嵐山にて運営する基幹施設「福田美術館」における公開を通じて、日本美術をテーマとした展覧会や催事等の開催、広報活動などを通じ、日本美術の普及・啓発と振興・発展を図る。

(事業内容)

- (1) 美術作品の収集、保存及び公開
- (2) 展覧施設の運営管理
- (3) 美術鑑賞の教育普及

(実施方法)

- (1) 本財団学芸員に加え、美術史研究家、地域内外の博物館、大学、研究機関、企業、団体等と連携し、コスト効率の最大化を図りながら、福田コレクションにふさわしい希少な美術品を購入し、必要な修復・保存管理、資料収集及び調査研究を行い、福田美術館の企画展にて公開する。
- (2) 国内外を問わずより多くの方々に福田コレクションを知って頂くため、美術に詳しくない方にもお楽しみいただけるような集客力のある展覧会やセミナー、イベントを有識者やメディアと連携しながら企画・実施する。また地域内外の寺社仏閣、関係団体・施設等と連携し、嵯峨嵐山地区の発展につながるイベントなどへの協力を行う。さらに、メディア並びにホームページやSNSを通じて、日本画や嵯峨嵐山地域の魅力を発信する。
- (3) 開館前や閉館後、休館日などを利用して、所蔵品の紹介や絵画の見方などをわかりやすく説明する機会を設ける。有識者や近隣の文化施設、団体などとも連携を図る。
またカルチャーセンターや生涯学習機関等に講師を派遣し、当館所蔵品に関するレクチャーを行う。

II 収益事業

1. 美術館事業

(目的効果)

ミュージアムショップやカフェの運営、美術館等施設の貸与により、収益を確保すると共に美術館の集客力の向上とブランド力の強化を図る。

(事業内容)

- (1) ミュージアムショップの運営
- (2) ミュージアムカフェ「パンとエスプレッソと福田美術館」の運営
- (3) 美術館等施設の貸与

(実施方法)

有識者や取引先企業と連携し、福田美術館にふさわしい洗練された仕様の頒布品やカフェメニューを開発、販売する。また、絵画鑑賞会や映画・ドラマ等のロケなどの施設貸与にも協

力する。

2. 不動産事業

(目的効果)

2024 年度に当財団の収蔵庫・書庫のある 8 階建てのビル「西院ビル」を取得する。当該ビルの空きスペースである 5 階の一部と 7・8 階を貸しオフィスとして、現在の入居者に引き続き貸出すことで、安定した収入を確保する。

以 上